

教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和3年1月20日(水) 午後2時30分～午後4時00分

2 場 所 伊東市役所高層棟5階中会議室西側

3 出席者 1番 高橋 雄幸君 2番 井上 靖史君

3番 山本 香織君 4番 沼田 芳美君

5番 村上 恵宏君

4 参 与 次長兼教育総務課長 相澤 和夫

教育指導課長 多田 真由美 幼児教育課長 稲葉 育子

生涯学習課長 杉山 宏生

5 事務局 教育総務課課長補佐 太田 靖久 主事 杉山 詩乃

6 会議の経過

教育長：ただ今から伊東市教育委員会1月定例会を開会する。議事に先立ち事務局から報告を行う。

(事務局から出欠報告及び資料確認)

教育長：それでは議事に入る。始めに、教育長報告を行う。1月定例会教育長報告事項について、主な内容のみ説明を行う。

12月17日 議会最終日、成人式中止の報道発表

18日 放課後児童クラブ訪問(4施設)

21日 新型コロナウイルス感染症対策本部会議

22日 勝俣代議士秘書来庁

23日 放課後児童クラブ訪問(4施設)

24日 伊東警察署長訪問

25日 政策会議、第5次伊東市総合計画調整会議、

市長による年末庁舎巡回の同行

- 28日 東部社会教育振興協議会事務局長来庁
- 1月 4日 政策会議、市長年頭訓示
- 5日 教育施設訪問(図書館、文化財管理センター、給食センター)、
青年会議所新役員来庁
- 7日 保育園訪問（7園）、成人式祝辞の動画作成
- 8日 校長会、新型コロナウイルス感染症対策本部会議、
JA あいら伊豆みかん寄贈
- 9日 成人式実行委員会解散式
- 10日 成人式中止に伴う状況巡回
- 12日 保育園訪問（6園）
- 13日 田中愛唯さん（南中）を励ます会来庁
- 14日 校長会人事個々面談
- 15日 公立保育園長・副園長面談、
新型コロナウイルス感染症対策本部会議
- 18日 県教委健康体育課長来庁
- 20日 教育委員会定例会、市長と教育委員との懇談会、
就学援助認定委員会

以上で報告を終わるが、何か意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

教育長：それでは、各委員からの報告をお願いします。

（報告なし）

教育長：それでは、議題に入る。本日は、議決事項、報告事項は無いので、その他に入る。始めに、「新型コロナウイルス感染症への対応について」を議題とする。

(相澤次長兼教育総務課長から資料に沿って説明)

相澤次長兼教育総務課長：教育総務課においては、市内小中学校の児童生徒及び教職員が新型コロナウイルスに感染した場合、保健所の指導の下、学校施設内の消毒作業を行うこととなる。また、県の警戒レベルがレベル5に上がったが、手洗いの徹底、食事中の会話の制限等の対策を講じた上で、給食は現状を維持し通常どおり提供する。

多田教育指導課長：児童生徒の家族が陽性者や濃厚接触者に該当したという報告はいくつかあった。家族が PCR 検査を受けた場合は早めに学校を休んでもらっている。もし、児童生徒に陽性者が出たとしても、できるだけ濃厚接触者を減らしていこうという取組を実施している。また、県の警戒レベルがレベル5に上がったことを踏まえ、伊東市では地域レベルを2まで引き上げた。感染リスクの高い活動については極力控えることとしている。各学校では、今年度の残された行事をどのような形で実施していくか検討を重ねており、また、来年度の教育課程についても収束の見通しが不透明な中で各校長が頭を抱えている状況である。教育指導課としても各学校に寄り添いながら学校運営のお手伝いをしていきたい。

稲葉幼児教育課長：幼稚園については、3学期に入り通常に運営をしている。保育園では、伊東市でのクラスター発生を踏まえ、予定していた発表会の中止や参観会の途中での切上げ等、感染症の拡大防止を図った事例があった。子育て支援センターすきっぷについては、当初12月4日から12月20日まで休止を予定していたが、12月20日の時点で市内の感染状況が収まっていなかったため、休止期間を延長し、1月6日に再開とした。また、県内で変異種の感染が確認されたことにより、子育て支援センター等から相談を受けているが、今のところ様子を見る状況である。

杉山生涯学習課長：生涯学習課所管事業の状況について報告する。

（**杉山生涯学習課長**から資料に沿って説明）

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：成人式の開催予定日に教育委員会職員の方々が見回りに行ってくれていたと聞いて、大変だったとは思いうるがありがたいことである。ニュースで藤の広場の様子を観たが、思っていたより和やかだった。来年に向けて良い策を考えていって欲しい。

教育長：生涯学習課職員が新成人と良く話し合い、しっかり関わって対応してくれていた。なかなか判断が難しい部分もあったが、成人式実行委員からも担当職員に感謝している様子が感じられた。

教育長：クラスターを防ぐためにも、体調が悪いことを感じたら自主的に休むなどの対策は必要である。学校だけでなく、子どもや親の意識も大事である。文部科学省からなるべく学校運営を止めないようという通知が来ている。新型コロナウイルスへの対応も徐々に変化しており、状況に応じた対応が必要になってくる。

委員：県のレベル上がったとのことだが、レベル4ではないか。

多田教育指導課長：一度、静岡市と伊東市のみレベル5相当に上がった。一旦レベル4に下がったが、現在はレベル5である。部活については、対外的な試合は市内であっても検討するようにとの通知が来ている。

委員：部活は制限があるが、クラブチームは関係ない。理不尽さを感じる。学生にとって、2度とない時間であり、全てをかけてきている子もいる。奪われた喪失感は大いだろう。また、報道機関の報じ方も良くないと思う。変異種や医療崩壊については、もっと前から分かっていたことで今更である。新型コロナ患者の受け入れについても、現場の医師がやる気になっていても経営サイ

ドがストップをかける状況があると聞いた。クラブチームは良くて部活動はだめ、受験生は良くて社会人はだめ、と線引きが曖昧で本気度が無い。

教育長：色々な場面で思い切って行動ができない状況があり、ストレスを感じているだろう。子どもたちにどういった影響が出てくるか、今後心配である。

教育長：次に、その他「各課報告」を議題とする。

相澤次長兼教育総務課長：教育総務課から2点報告を行う。まず、伊東市学校給食センター調理・配送・配膳・洗浄業務委託契約における受託者募集について報告する。平成28年8月から5年契約の委託が令和3年7月末で満了となるため、令和3年8月から令和8年7月末までの業務委託契約における受託者を募集する。選考委員によりプロポーザル方式にて業者を決定する。契約の更新に伴い、令和3年の2学期より富戸小学校を受配校に組み入れる。調理員の退職に伴う人員の減少や施設・設備の老朽化に伴い、安全に安心して給食を実施するためである。

次に、中学校電子黒板等導入について報告する。令和元年度に小学校には65型ディスプレイを106台導入した。今年度競輪事業の収益を基に、中学校の普通教室に53台、特別教室に15台、計68台を導入する。小学校と違い生徒の体が大きく設置スペースを取れない等の理由により、プロジェクター型を基本とする。学校によってはスペースが確保でき、ディスプレイ型を希望する場合には希望に沿う形とする。

多田教育指導課長：教育指導課から生徒指導について報告する。問題行動については、小学校で25件の報告があり、昨年度と比較すると2倍の件数である。不適合を起こし、同じ子が毎日のように繰り返している状況がある。中学校は、1年生男子による問題行動が多く報告されている。ただ、昨年度あたりから中学校が非常に落ち着いている。子どもを一人の人間としてきちんと正対して対

応することが大事である。いじめについては、認知件数が小学校31件、中学校4件となっている。初期の段階で対応していくことが非常に大事である。大人にとっては些細なことでも子どもは重く受け止めることもあるので、子どもに寄り添った対応が必要である。また、いじめが再発したケースが発見されたので、担任だけでなく大勢の目で見守る必要がある。不登校については、伊東市にとって大きな問題である。就学支援委員会でも話題になるが、特別な支援を要する子が不登校になるケースが多くなっている。その子にとってどこで学ぶことが最善なのか、不登校の状況も含めながら審議することが重要になっている。一人一人の困り感に寄り添った指導の大切さを感じる。

稲葉幼児教育課長：幼児教育課から保育園の年末年始の運営状況について報告する。幼稚園及び保育園共に事故の報告は無かった。保育園では、12月29日及び30日に休日保育を実施し、延べ人数として12園で園児425人が利用し、職員150人で対応した。

杉山生涯学習課長：生涯学習課から2点報告を行う。まず、図書館建設に係る基本構想に対するパブリックコメントを2月上旬から3月上旬にかけて実施する予定である。合わせて石丁場遺跡保存活用計画についてもパブリックコメントを実施する。様々な意見をいただきたい。

次に、12月補正にて予算配当された市民体育センターのバスケットゴールの設置について報告する。2月下旬から3月上旬に工事を実施する。

教育長：ただいまの報告について、意見・質問はあるか。

委員：通級指導教室なぎさについて、不登校の人数に対して施設がとても狭く、感染症対策を講じると余計にスペースが足りないのではないか。現在、対応できているのか。

多田教育指導課長：現在、通級してくる子が1日平均で8名前後である。基本

的に個別対応が主であり、グループ活動を行うことはない。ただ、確かにスペースは狭いので、もう少し広い場所があれば良いと検討している。

委員：現在は、運動するのも体育館を借りに行っているような状況かと思う。
1つの場所であらゆることができると良い。

委員：統合後の川奈小学校跡地を使用することはできないのか。

相澤次長兼教育総務課長：川奈小学校の活用については検討をしている。庁内で市有財産の活用方法の検討が進められている。

委員：8名程度しか来ていないのは、感染症対策等の観点も含め、狭いから来ないということはないか。

多田教育指導課長：通っている子は中学生が主になっており、小学生がなかなか来づらい状況があるようだ。基本的に、1日2名の指導員で対応しているが、来年度は3名に増やしたい。また、相談機能の充実も進めていきたいと思っている。運営体制や環境が変わると子どもたちを通いやすくなるのではないかと考えている。

委員：例えば、映像の教室を1部屋作って、スタディサプリ等のデジタルコンテンツを利用することはどうか。そういったものを利用することで個々が興味のある授業を観ることができる。

委員：GIGA スクール構想により1人1台端末が整備されると思うが、なぎさに通う子どもたちにもタブレット等を1人1台程度整備してもらえたら良いと思う。実際に通う学校の授業を配信してなぎさで受けられれば、実際の学校の雰囲気を感じられて良いのではないか。

多田教育指導課長：文部科学省からは適応指導教室の在り方として「学校に戻ることだけを一時的に考えるのではなく、自立を見据えた在り方を検討するよるに」とされている。新学習指導要領の中にも同様な趣旨が記載されている。

タブレット等の端末については、今のところ学校から持ち出すことは考えていないが、今後対応していけるか ICT 教育部会で検討している。それに伴い、セキュリティポリシーや規約の見直しも検討している。また、端末を使いこなすためには、指導員の研修も必要になってくるだろう。様々な事案を同時進行で進めていく必要がある。

教育長：なぎさの子どもたちへの端末については、なるべく早く整備してもらいたい。

教育長：新図書館は、令和 5 年に建設を開始し、令和 6 年に完成する予定である。今後、市民の意見を吸い上げて実現に向かっていくが、教育委員の方々にも後押ししてもらいたい。市民の皆様が使いやすく、みんなが集えるような場所となつてほしい。

委員：飲食店等のテナントは入るのか。

杉山生涯学習課長：コーヒーショップのようなものは考えている。

委員：テナントを入れると財政的に少し楽になるのではないか。

杉山生涯学習課長：人が集まることで周辺地域の活性化ができれば良いという考え方である。建物単体で利益をあげようという考えはない。

委員：ワーケーションやテレワーク向けに、VIP ルーム等の有料ゾーンがあったらとても良いと思う。

杉山生涯学習課長：昨今のご時世の中で考え方が少し変化しており、ワーケーションの需要が出ているので、有料ゾーンは考えている。学校も含めて多くの人が使いたくなるような施設にしたいと思っている。

教育長：その他、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

教育長：今後の日程について確認する。

2月の定例会については、2月17日（水）午後2時30分から

3月の定例会については、3月16日（火）午後2時30分からを予定している。

教育長：以上で伊東市教育委員会1月定例会を終了する。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

教育長 高橋 雄幸

委 員 井上 靖史

書 記 杉山 詩乃